

A 赤い糸のある手袋

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問

体験・感想・考えを区別して読む

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 冬の初め、片方の手袋の親指に穴が開いた。小学生のときから使っている、紺色の手袋だ。母に見せると、「まだ縫えるよ」と言われた。買い替える口実ができたと思っていた私は、少しがっかりした。
- ② その晩、母は赤い糸で穴をふさいだ。「紺の糸、切らしてた」親指の先に、小さな赤い丸ができた。目立ちすぎる。私はそう思い、翌朝は親指を内側に曲げて歩いた。
- ③ 帰り道、友達が私の手を見て、「目印みたい」と言った。笑われると思っていたのに、友達は自分の手袋を左右並べ、「同じ色だと、急いでもと分からなくなる」と続けた。私は赤い丸をもう一度見た。確かに、右手の手袋だけに付いた印だった。
- ④ 家に着いて手袋を外すと、今まで気にしていなかった毛糸の薄いところも目に入った。指の曲がる場所は柔らかくなり、手の形に少し沿っていた。新品のころの固さを、私はもう思い出せなかった。
- ⑤ 新しい物のきれいさには、今も心が動く。けれど、この手袋を「古い」の一言で片付けるのは、何だか足りない気がした。使い込んだ形には、私の手と一緒に過ごした時間も混ざっている。赤い糸は、その時間をいったん結び直したように見える。
- ⑥ 次に穴が開いたら、何色の糸で縫おう。そう考えている自分に、少し驚いた。手袋を机に置くと、右の親指だけが、こちらに小さく手を振っていた。

問1 ①段落の内容を、体験した出来事と、そのときの感想に分けたものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 出来事＝少しがっかりした／感想＝親指に穴が開いた。
イ 出来事＝新品の固さを忘れた／感想＝赤い糸で縫った。
ウ 出来事＝母にまだ縫えると言われた／感想＝少しがっかりした。
エ 出来事＝買い替えるべきだと考えた／感想＝冬の初めだった。

読み取りメモ 気になる言葉と、そこから分かること

A 赤い糸のある手袋

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落で筆者が親指を内側に曲げて歩いたのはなぜですか。二十字以上三十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問3 ③段落の友達の言葉は、筆者が赤い糸を見るうえで、どのようなきっかけになりましたか。一つ選びなさい。

- ア 目立つ欠点だと思っていた糸を、役立つ印として見直すきっかけ。
イ 修理は役立たないと思っていたので、新品を買う決心をするきっかけ。
ウ 母の縫い方が正しいかを、友達と競って調べるきっかけ。
エ 友達の手袋と取り違えたことに気付くきっかけ。

問4 ④段落の手袋の様子は、⑤段落のどの考えにつながりますか。一つ選びなさい。

- ア 同じ色の手袋は、左右を見分けにくいという考え。
イ 新しい物は、古い物より手になじみやすいという考え。
ウ 穴の開いた手袋は、すぐに買い替えるべきだという考え。
エ 使い込んだ形には、持ち主と過ごした時間が表れるという考え。

問5 筆者が、新しい物のよさまで否定しているわけではないと分かる一文を、⑤段落から抜き出しなさい。(19字)

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

A 赤い糸のある手袋

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑤段落の「その時間をいったん結び直した」とは、手袋についてどのように感じていることですか。三十字以上五十字以内に説明しなさい。

問7 ⑥段落の最後の一文は、どのような効果を生んでいますか。一つ選びなさい。

ア 赤い糸が手袋から抜けかけている様子を、はっきり説明している。

イ手袋を人のように表し、筆者が親しみを感じるようになったことを伝える。

ウ友達と同じ手袋を持つ喜びを、手の動きとして表している。

工 修理の失敗を面白く描き、新品を選ぶ気持ちを伝える。

問8 筆者の手袋への見方は、初めから終わりへどう変わりましたか。友達の言葉をきっかけとした気付きも含め、四十五字以上六十五字以内で説明しなさい。

																				20	
																				40	
																				60	
																					65

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

B 録音の外側

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問

具体的な体験と、そこから生まれた考えを結ぶ

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 夏の夕方、川沿いの道で立ち止まった。橋を渡る電車の音が遠ざかると、草の中から虫の声が聞こえた。その重なり方が面白くて、私は携帯電話の録音を始めた。帰ってからも、この場所に戻れると思った。
- ② 家で再生すると、電車の音は思ったより大きかった。虫の声も確かに入っている。それなのに、何かが違う。音量を上げて、イヤホンを替えても、川辺で聞いた感じにはならなかった。
- ③ 目を閉じると、土手の草の匂いが浮かんできた。手すりに置いた腕の冷たさや、水面が少しずつ暗くなったことも思い出した。私は音だけを聞いていたつもりで、その場所にいる体全体で夕方を受け取っていたらしい。
- ④ 試しに、録音を聞きながら、そのときの様子をノートに書いた。「涼しい風」と書いてから、消した。涼しいだけではなかった。汗の引いた腕に風が触れたとき、夏が少し遠ざかるような、心細い感じもしたのだった。
- ⑤ 録音が失敗だったとは思わない。再生しなければ、自分が覚えているものの多さにも気付かなかっただろう。ただ、一つの記録に、その場のすべてを預けられるわけではないらしい。書く言葉を探すうちに、私は録音の外側にも耳を澄ませていた。
- ⑥ 翌週、同じ道を通った。携帯電話を取り出しかけ、いったんポケットへ戻した。まず、今日の風を腕に受けてみたかった。前の夕方と似ていたかどうかは、急いで決めずにおこうと思う。

問1 ①段落で筆者が録音に期待していたことを一つ選びなさい。

- ア 電車の音を取り除いて、虫の声だけを聞けるようにすること。
- イ 家でも川辺で過ごしたときの感じを再び味わうこと。
- ウ 同じ場所に行かなくても、次の週の天気を知ること。
- エ 自分の記憶が間違っていることを証明すること。

B 録音の外側

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題4ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落の「何かが違う」とは、どのようなことですか。一つ選びなさい。

ア 録音には、電車の音も虫の声も入っていないこと。

イ 再生した音が、別の日に録音した音に変わっていたこと。

ウ川辺では聞こえなかった人の声が大きく入っていたこと。

エ音は記録されているのに、その場で味わった感じを再現できないこと。

問3 ③段落から、筆者が音以外に受け取っていたもののうち、腕で感じた感覚を表す一続きの言葉を抜き出しなさい。(12字)

[illegible]

12

問4 ④段落で筆者が「涼しい風」を消した理由を、三十字以上五十字以内に説明しなさい。

																				20
																				40
										50										

20

40

50

問5 ⑤段落の筆者の考えに合うものを一つ選びなさい。

ア 記録に残らなかったものは、あとで思い出す価値がない。

イ録音より文章のほうが、その場のすべてを正確に保存できる。

ウ 録音はすべてを残せないが、ほかの記憶に気付くきっかけにもなる。

エ 記録を取ると感覚が鈍るので、記録はやめるべきである。

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

B 録音の外側

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題4ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑤段落の「録音の外側にも耳を澄ませていた」とは、どのようなことですか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

問7 ⑥段落で携帯電話をいったんポケットへ戻した行動の意味として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 録音する前に、まず自分の感覚でその場を受け止めようとした。

イ 録音ができない故障に気づき、修理することにした。

ウ 前の録音で十分だと思い、川辺への興味を失った。

エ 似た音を記録する意味がないと考え、今後の録音をやめた。

問8 再生した音への違和感から、筆者は記録と自分の感覚について何に気づきましたか。四十五字以上六十五字以内で説明しなさい。

																			20
																			40
																			60
					65														

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

C 待つ匂い

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問

複数の体験を結び、考えの範囲を確かめる

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 祖母とパンを作った日、私は何度も時計を見た。丸めた生地は、布の下で膨らむのを待っている。「あと何分？」と聞くと、祖母は「もう少し」と言った。動画なら、ここは早送りになる場面だ。
- ② 待ちきれずに布を持ち上げても、生地はさっきと変わらないように見えた。祖母は窓を閉め、生地の入ったボウルを日差しの届く場所へ移した。「今日は台所が冷えるね」私は、時計だけでは分からない何かがあるのだと思った。
- ③ やがて祖母は布を取り、私を呼んだ。表面の丸みが大きくなっていた。指でそっと触れると、さっきより柔らかい。「ほら、今ならよさそう」待っている間も、生地は止まっていたわけではなかった。
- ④ 焼き上がるのを待つ時間には、台所の匂いが少しずつ変わった。初めはぼんやりしていた甘い匂いが、やがて香ばしくなる。私は時計を見る代わりに、祖母と窓の曇り方を眺めた。何もすることがないと思っていた時間が、気付くことのある時間になっていた。
- ⑤ もっとも、どんな待ち時間も好きになったわけではない。翌朝、遅れたバスを待ったときは、やはり落ち着かなかった。待つ理由も、その先にあるものも違う。パンの時間を、そのまま何にでも当てはめることはできない。
- ⑥ それでも、「待つ」と「何も起きていない」は、同じではないと今は思う。目に見える変化が小さくても、進んでいることはある。急いで答えを出せないとき、あの生地の柔らかさが、私を少しだけ待たせてくれるかもしれない。

問1 ①段落で、筆者は生地が膨らむのを待つ時間をどう捉えていますか。一つ選びなさい。

- ア 変化をゆっくり観察する、楽しい時間。
- イ 祖母と話すために、できるだけ延ばしたい時間。
- ウ パン作りの中で、最も難しい作業をする時間。
- エ することがなく、できれば飛ばしてしまいたい時間。

C 待つ匂い

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題7ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落で、祖母の行動から筆者が気付いたことを一つ選びなさい。

ア 置かれた環境によっても生地の様子が変わるので、時間だけでは判断できない。

イ 生地を動かすと膨らまなくなるので、ボウルを同じ場所に置く必要がある。

ウ 時計を見れば生地に触れなくても、いつでも同じ結果にできる。

エ 日差しが強ければ、膨らむのを待たずにすぐ焼いてよい。

問3 ③段落の「生地は止まっていたわけではなかった」とは、どのような意味ですか。二十五字以上四十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問4 ③段落と④段落の体験に共通することを一つ選びなさい。

ア 祖母の失敗をきっかけに、筆者が作り方を変更したこと。

イ待つことをやめると、パン作りが早く進んだこと。

ウ 待つ間にも変化があり、筆者が感覚を使ってそれに気付いたこと。

工 筆者の予想した時刻に、生地が同じ変化をしたこと。

問5 ⑤段落のバスを待つ体験を書くことには、どのような役割がありますか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

																					20	
																					40	
															55							

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

C 待つ匂い

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題7ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑥段落で生地の「柔らかさ」を再び取り上げる効果として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア パンの味の説明に戻り、待つことへの考えを取り消している。

イ 具体的な感触を、今後すぐに答えが出ない場面を考える手がかりにつないでいる。

ウ 柔軟さを正確な数字で表し、待ち時間を短くする方法を示している。

エ 祖母が作ったパンと自分のパンを比べ、優劣をはっきりさせている。

問7 友達に送った質問への返事がすぐに来ません。本文の考えを手がかりに、返事を待つ間に考えられることと、まだ分らないことを、三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 本文全体から読み取れる筆者の考えを、待つことへの見方の変化と、その考えの限界が分かるように、五十字以上七十字以内でまとめなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

D 名前を知ったあと

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点

体験・感想・考えと、表現の働きを確かめる

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 駅前によく見かける、白と黒の小鳥がいる。歩道を小走りに進み、立ち止まると長い尾を上下に動かす。私は勝手に「急ぎ足」と呼んでいた。先日、公園の案内板で似た姿の鳥を見つけた。名前はハクセキレイだった。
- ② 名前が分かった日は、少し得意だった。翌朝も鳥を見つけ、「あ、ハクセキレイ」と心の中で言って、そのまま駅へ急いだ。今までなら立ち止まっていたのに、名前を当てると、見る仕事が済んだような気がした。
- ③ 数日後、雨上がりの歩道で、その鳥が水たまりの縁を歩いていた。大きく一步を出しかけ、引っ込める。それから横へ回り、細い部分をひょいと越えた。私は思わず笑った。急いでいるようでも、ちゃんと道を選んでいる。
- ④ もちろん、一度見ただけで、この鳥がいつもそうするとは言えない。けれど、「ハクセキレイ」という名前の中に、その朝の足の運びまで書き込まれているわけではなかった。名前を知っても、目の前の一羽には、まだ知らないところが残っている。
- ⑤ 知識が増えると、世界が分かるようになる。それはうれしい。ただ私の場合、名前を知った途端に、分かったつもりになっていたのかもしれない。名前は、観察を終える札にも、その先へ入っていく入り口にもなるのだろう。どちらにするかは、覚えたあとでどう見るかにかかっている。
- ⑥ 今朝も「急ぎ足」は駅前にいた。名前を忘れたわけではない。私の中では、二つの呼び名が並んでいる。ハクセキレイは、今日はどんなふう to 歩くだろう。信号が青になるまで、私は少し離れたところから見ていた。

問1〔10点〕 ②段落で、名前を知った筆者が感じたことを一つ選びなさい。

ア 鳥を見分けられなくなる不安。

イ 案内板の説明への強い疑い。

ウ 知識が増えたことへの得意な気持ち。

エ 自分だけの呼び名を失った寂しさ。

D 名前を知ったあと

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2〔10点〕②段落で、筆者が鳥を見ても立ち止まらなかった理由として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 名前を言い当てると、その鳥を見る目的を果たしたように感じたから。

イ鳥が以前とは別の種類だと思い、関心を持てなかったから。

ウ案内板で見た鳥の姿と違い、近寄るのが怖かったから。

工鳥を見つめると、必ず逃げてしまうと知っていたから。

問3〔10点〕 ③段落から、筆者が実際に見た鳥の動作を述べた一文を一つ選びなさい。

ア 私は思わず笑った。

イ 急いでいるようでも、ちゃんと道を選んでいる。

ウ 名前が分かった日は、少し得意だった。

エ 大きく一歩を出しかけ、引っ込める。

問4〔10点〕 ④段落の初めの一文には、どのような働きがありますか。一つ選びなさい。

ア ③段落で鳥を見たという体験を、全体として取り消す。

イ一度の観察から、その鳥の行動全般を決めつけないようにする。

ウ 鳥の名前が間違っていたことを、確実な事実として示す。

エ 同じ鳥をもう一度探す方法を、順番に説明する。

問5〔10点〕 名前を知ったあとも観察を続けようとする筆者の姿勢を表す問いかけの一文を、⑥段落から抜き出しなさい。（23字）

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

D 名前を知ったあと

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6〔15点〕⑤段落の「観察を終える札」と「その先へ入っていく入り口」とは、それぞれどのようなことですか。四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7〔15点〕⑥段落で「急ぎ足」と「ハクセキレイ」という二つの呼び名が並ぶことは、筆者のどのような見方を表していますか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

問8〔20点〕 名前を知ったあとに鳥の動作を見た体験から、筆者は知識と観察についてどのように考えるようになりましたか。五十字以上七十字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。